

者聯合會新ニ組織セラレ廣州新聞記者聯合會役員亦客月二十四日改選
 セラレタルニ付前記往信追補旁別紙ノ通正副二通報告書進達ス
 本信寫送附先 在支公使 在香港總領事 在南京領事

BII

0424

大 中 報	廣州新聞報	名 稱	新 聞
中 立	營利本位	主 義 系 統	持 主 義 筆 及 主 者
香 港 華 僑 日 報	番 保 真 梁 展 南	ハ 社 長 ナ ル	者
陳 武 揚	兼 主 筆	編 輯 長	備 考
民國十八年二月創刊日刊八頁紙共和 報ノ分身ニシテ一萬五千元ノ資金ヲ 以テ新設セラレタルモノニシテ社ヲ 上九甫馬路二十五號ニ置ク政派の色 彩無ク專ラ營利本位ト稱セラレ記事 亦文藝欄及三面ノ雜報ニ特ニ力ヲ注 キ居レルカ如シ 民國十八年二月創刊日刊十頁紙香 港華僑日報ノ直營ニシテ資本金一萬 五千元電報欄特ニ出色シ時局柄日本 關係ノ記事ヲ好テ登載シ居レル特色 鮮明ナラサルモ稍親英的ナルカ如 シ			

BII

0425

大中華報實業振興
鄒殿邦 編輯長
廣東總商會 主筆 陳寶尊
長 林燦予
商會ニシテ當地於
ケルナリ
民國十八年三月創刊日刊八頁紙國華報
カ客年商會聯合會ノ機關紙トナルヤ之
ト對抗ノ立場ニ在ル總商會ハ資金三萬
元ヲ以テ本紙ヲ創刊セルモノナリ創刊
間モ無キコトトテ其ノ將來モ未知ナル
カ資金ノ潤澤ナルト總商會ノ背景ニテ
相當發展ヲ囑望セラル

0426

廣東全省新聞記者聯合會 廣州新聞記者聯合會ノ幹旋ニ依リ廣州香港汕頭惠州其ノ他省内數縣ノ代表廣州市警察同樂會ニ會合シ開會三日左記ノ通り委員ヲ選出シテ本聯合會ノ成立ヲ見タリ(參考ノ爲會議ニ提出セラレタル聯合會章程草案其ノ他ヲ添付ス)尙ホ目下省内各地ニモ記者聯合會創立ノ準備中ナリ

執行委員
譚沛元 盧博浪 陳亦修 梁展鵬 謝英伯 劉魯際 鍾夢靈 黃劍津 梁天尺 何雅選 潘抱眞 楊震球 藍渭滂 謝哲邦 李定恆 李偉光 周廷勳

監察委員
駱挾挺 林眞甫 詹天眼 陸文英 彭一生 陳寶尊 馮澄甫 關澤霖 岑卓

0427

廣州新聞記者聯合會役員

執行委員

林眞甫

陳寶尊

謝英伯

陸舒農

容

卓

駱挾挺

霍

健

劉德明

李勉成

黃策

麥秀岐

監察委員

譚憲洋

劉衡仲

陳文赫

劉曉東

薛伯賢

BII

0428

廣東全省新聞記者聯合會章程草案

第一章 總綱

〔第一條〕本會定名為廣東全省新聞記者聯合會所設于省政府所在地
〔第二條〕本會以結合群方主持正誼貫澈言論自由企圖報業發展為宗旨

第二章 組織

〔第三條〕本會由廣東省區域內各地新聞記者聯合會組織之凡現任各地記聯會之會員均為本會會員

〔第四條〕本會設執行委員若干人監察委員若干人由全省代表大會選定之

第三章 會議

〔第五條〕本會每年開全省代表會議一次其代表之選派由各地記聯會就會員中選出之每會員十人得派出代表一人逾百人以上者每多二十人得加派代表一人

〔第六條〕執行委員會監察委員會每三個月開會一次遇必要時得由常務委員召集臨時會議

第四章 職權

〔第七條〕代表大會之職權如上
關係全省公道利害問題及外交上之言論範圍修改本會章程稽核進支等事項

〔第八條〕執行委員會之職權如下
執行代表大會議決案大會開會時執行委員會為全省最高機關處理本會一切事務

第五章 任期

〔第十條〕執行委員監察委員任期定為二年期滿另選之但不得連任三次

第六章 經費

〔第十一條〕本會經費由各地記聯會負擔其支配辦法另定之

第七章 懲戒

〔第十二條〕此條關係重大應集多人意思或由代表大會決定之

第八章 附則

〔第十三條〕本章程自代表大會議決通告之日施行
〔第十四條〕本章程如有未盡事宜得由全省代表大會議決修改之

才百行

秘書處組織細則

廣東全省新聞記者聯合會成立大會秘書處組織細則

- (一) 本處依據廣東全省記者聯合會成立大會會議規則規定之
- (二) 本處分設下列各股
 - (甲) 編輯股
 - (乙) 文書股
 - (丙) 會計股
 - (丁) 庶務股
 - (戊) 交際股
- (三) 本處設置職員如下於成立大會時推定之
秘書二人 各股主任一人 各股幹事若干人
- (四) 秘書掌理全處事務指揮所屬各職員
- (五) 交際股掌理事務如下
 - (甲) 招待大會代表
 - (乙) 招待旁聽人員
 - (丙) 辦理對外交涉事項
- (六) 編輯股掌理事務如下
 - (甲) 接受各種提案
 - (乙) 編製代表坐位
 - (丙) 執行大會速記
 - (丁) 編輯大會會議錄
- (七) 文書股掌理事務如下
 - (甲) 監用印信
 - (乙) 撰擬文書函件宣言
 - (丙) 收發及保管文件
 - (丁) 編擬議事日程及繕發通告事件
 - (戊) 辦理一切對外宣傳事項
- (八) 財政股掌理事務如下
 - (甲) 管理一切收支事項
 - (乙) 編製大會收支報告表
- (九) 庶務股掌理事務如下
 - (甲) 佈置會場
 - (乙) 購置及保管物品
 - (丙) 管理本處印刷事項
 - (丁) 管理代表膳宿事項
 - (戊) 辦理關於本處一切雜務
- (十) 本處設事務員若干人由秘書處酌量定之
- (十一) 本規則自大會通過之日施行

會議規則草案

廣東全省新聞記者聯合會成立大會會議規則草案

第一章 主席團

(一)本會主席以主席團若干人担任主席團如有缺席時由出席代表臨時推補之

第二章 秘書處

(二)本會設秘書處其辦事細則另定之

第三章 審查委員會

(三)本會設審查委員會其審查大綱另定之

第四章 開會散會及延會

(四)本會會議須有報到代表過半數之出席

(五)已屆開會時間代表出席不滿半數時主席得延長之

(六)議事日程所載之議程會議完畢後由主席宣告散會

(七)已屆散會時間議事未畢主席得延長會議時間主席未宣告開議以前或宣告散會之後代表不得就議席發言

第五章 議事日程

(八)會議事件由秘書處編列議事日程預日分發各代表

(九)遇有緊要事件未載議事日程或已載議事日程而順序在後必須速議者得由主席團提出或代表五人以上之請求表決變更之

第六章 議事

(甲)提議及動議

(十)代表提議各事項應具案附以理由經審查委員會通過後始得提出大會

(十一)議案標題朗誦後提議者得說明其旨趣代表對於議案有疑義時得請提議者說明之

(十二)會議時代表得提出臨時動議但須得主席團允許並有三人以上之附議

(十三)動議既發而未經主席接述者本人可隨意收回但既經接述則非付表決通過後不能收回

(乙)討論

(十四)代表發言時須起立呼主席報告席次待主席許可始得發言

(十五)兩人以上同時起立者其發言之次序由主席定之

(十六)提案說明者每人發言時間最多不得過二十分鐘討論者每人發言最多不得過十分鐘

(十七)簡單發言者就原位起立如有詳細言論登台發表時須先得主席團同意

(十八)討論範圍不得越出議題之外

(十九)討論終結由主席宣告之

(丙)表決

(二十)各種議案以出席代表過半數表決之

(廿一)主任宣告付表決後代表不得再就本議題發言

(廿二)表決用舉手表決法如代表提出異議時主席得用反証法表決之可否同數時由主席團決定之

(廿三)代表于同一議題不得兼為可否之表決

第七章 紀律

(廿四)代表入場須于出席簿上簽到開會時非得主席團許可不得退席

(廿五)會議時不得有下列事項

一 移坐交談

二 閱非關於議案書報參考

三 喧噪以妨碍他人之發言

四 其他有碍秩序之行爲

(廿六)代表聞主席搖鈴應肅靜

第八章 懲戒

(廿七)代表不遵規定之紀律者主席團得提出大會表決于一定之時間停止其發言或停止其出席

第九章 附則

(廿八)本規則自大會通過之日施行

情報部 第一課

昭和四年三月廿五日 接受前

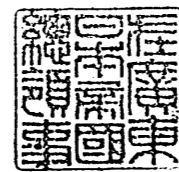
機密第一一八號

昭和四年三月七日

在 廣 東

總領事 矢 野 眞

外務大臣男爵 田 中 義 一 殿



廣東ニ於ケル新聞及通信ニ關スル調査通報ノ件

本件ニ關スル定期報告ハ本年一月三十一日附機密第六五號往信ヲ以テ
進達シ置キタル處同公信ニ於テ近々創刊セラルヘント言及シ置ケル新
聞報、大中華報、大中華報ハ何レモ發刊ヲ見尙ホ客月來廣東全省新聞記

600.133

0432

者聯合會新ニ組織セラレ廣州新聞記者聯合會役員亦客月二十四日改選
セラレタルニ付前記往信追補旁別紙ノ通正副二通報告書進達ス
本信寫送附先 在支公使 在香港總領事 在南京領事

BII

0433

大中華報實業振興	
鄧殿邦 編輯長	
廣東總商會 主筆	
長官 陳致尊	
地方 林琛	
方富地 孫予	
ケルニ於	
ナリ	
民國十八年三月創刊日刊八頁紙國華報	
カ客年商會聯合會ノ機關紙トナルヤ之	
ト對抗ノ立場ニ在ル總商會ハ資金三萬	
元ヲ以テ本紙ヲ創刊セルモノナリ創刊	
間モ無キコトトテ其ノ將來モ未知ナル	
カ資金ノ潤澤ナルト總商會ノ背景ニテ	
相當發展ヲ囑望セララル	

0435

BII

廣州新聞報營利本位 備保區梁展南	新 聞	名 稱	大 中 報
持主 義系統	主 義	主 義	中 立
社長 ナル記者	社 長	社 長	香 港 華 僑 日 報 兼 主 筆
主 筆 及 主 筆	主 筆	主 筆	陳 武 揚
備 考	備 考	備 考	民國十八年二月創刊日刊十頁紙香
報ノ分身ニシテ一萬五千元ノ資金ヲ	報ノ分身ニシテ一萬五千元ノ資金ヲ	報ノ分身ニシテ一萬五千元ノ資金ヲ	港華僑日報ノ直營ニシテ資本金一萬
以テ新設セラレタルモノニシテ社ヲ	以テ新設セラレタルモノニシテ社ヲ	以テ新設セラレタルモノニシテ社ヲ	五千元電報欄特ニ出色シ時局柄日本
上九甫馬路二十五號ニ置ク政派の色	上九甫馬路二十五號ニ置ク政派の色	上九甫馬路二十五號ニ置ク政派の色	關係ノ記事ヲ好テ登載シ居レルモ色
彩無ク専ラ營利本位ト稱セラレ記事	彩無ク専ラ營利本位ト稱セラレ記事	彩無ク専ラ營利本位ト稱セラレ記事	鮮明ナラサルモ稍親英的ナルカ如
亦文藝欄及三面ノ雜報ニ特ニ力ヲ注	亦文藝欄及三面ノ雜報ニ特ニ力ヲ注	亦文藝欄及三面ノ雜報ニ特ニ力ヲ注	キ居レルカ如シ

0434

BII

情報部 第二課

昭和四年四月拾壹日接受

機密 第三二號

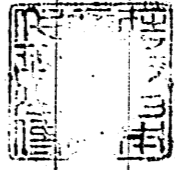
昭和四年三月十日

在加奈陀

臨時代理公使

富澤

周



外務大臣田中義一殿

新聞調査報告ニ関スル件

昭和三年十月末現在ニ於ケル当地新聞状況ニ関シテ容年廿月
一日附機密付方五九號報告ニ訂正変更ヲ加スル点無シ
右報告ス

0436

5.3.11
スミ
22
池
44
11(四五五)

情報部 第一課

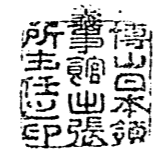
昭和四年三月廿九日接受

機密公第三七號

昭和四年三月十四日

在博

外務書記生 佐々木高



外務大臣男爵 田中義一殿

新聞調査報告ニ關スル件

昭和四年二月二十七日附報一機密合第一八三號ヲ以テ御來訓ノ趣敬承
當所管内ニハ邦字並ニ支那新聞及通信社又ハ此等ノ支社代理店等皆無
ニ付右様御舎ノ上可然御取計相成度此段答申ス

0437

600.933

600.933

急尾 下三

情報部 第一課

昭和四年三月廿二日

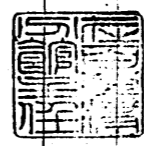
機密公信第四〇號

(別紙添付)

昭和四年三月十四日

在百草溝

分館主任 田中繁三



外務大臣男爵 田中義一 殿

新聞調査報告ニ關スル件

本件ニ關シ客月二十七日附報一機密合第一八三號御來訓ノ趣敬承、別紙ノ通回報申進ス

600,933

0438

新聞調査 (百草溝分館 昭和三年末)

當館管内ニ於テハ新聞其他ノ發行セラル、モノ一モナク龍井村ニ於テ發行セラル、間島日報(諺文)、間島新報(邦文)ノ日本新聞二種及支那側發行ノ民聲報(漢文ト諺文ヲ併用)ノ三新聞カ極メテ少數ノ讀者ヲ有シ各社共支局ノ看板ヲ掲ケ支局長ト稱フル通信員ヲ設置スルモ何等定額ノ手當乃至費用ヲ支出シ居ラサル爲メ其ノ機能不振ノ状態ナリ
特殊地域タル間島地方ニ於テハ當局補助ノ下ニ今少シク費用ヲ豊カナラシメ各地ヨリノ通信ヲ適確敏速ナラシムルト共ニ奥地居住鮮人ニ對シ無料配付等ヲ實行シ得ハ折角設置シアル前記二新聞ノ機能ヲ發揮シ得テ鮮人ノ啓發並我方施設等ノ普及ニ有效ナラシムヘントハ常ニ感スル所ナリ

0439

新聞調査 (百草溝分館) 昭和三年末

當館管内ニ於テハ新聞其他ノ發行セラル、モノ一モナク龍井村ニ於テ發行セラル、間島日報(諺文)、間島新報(邦文)ノ日本新聞二種及支那側發行ノ民聲報(漢文ト諺文ヲ併用)ノ三新聞カ極メテ少數ノ讀者ヲ有シ各社共支局ノ看板ヲ掲ケ支局長ト稱フル通信員ヲ設置スルモ何等定額ノ手當乃至費用ヲ支出シ居ラサル爲メ其ノ機能不振ノ状態ナリ

特殊地域タル間島地方ニ於テハ當局補助ノ下ニ今少シク費用ヲ豊カナラシメ各地ヨリノ通信ヲ適確迅速ナラシムルト共ニ奥地居住鮮人ニ對シ無料配付等ヲ實行シ得ハ折角設置シアル前記二新聞ノ機能ヲ發揮シ得テ鮮人ノ啓蒙並我方施設等ノ普知ニ有效ナラシムヘシトハ常ニ感スル所ナリ

0440

情報部 第一課

機密第二四號

昭和四年三月十五日

在沙市

領事館事務代理宮城平兵衛



外務大臣男爵田中義一殿

新聞調査報告ニ関スル件

昭和三年末現在当地新聞調査表別紙ノ通達ニ尙査閱アリタシ

604933

昭和四年四月三日 別紙添附

0441

800,933

情報部 第一課
機密 第五二號

昭和四年三月拾五日

在坊子
外務書記生 福士亮行

外務大臣 田中義一殿

新聞通信ニ関シ調査報告方ニ関スル件

当出張所受持区域内外ニ新聞雜誌類ヲ發行スル者又ハ
其支局出張所通信所若クハ通信員ノ駐在スル者ナシ
右報告申進ス

0443

沙市ニ於ケル新聞調査

名	主義系統	持主	主筆・記者	備考
長江商務報	營業本位 迎合主義	支那人 侯仲涛	全上	大正十一年七月創刊日刊四頁 發行部數百二十内外 地方記事ノ外ハ重慶漢口 上海等ノ記事轉載ニテ智 識階級ニハ顧ルモノナレ 及日態度ヲ表示スルコトアリ
(漢字新聞)				

以上

昨二年度調査報告發行部數三千トアルハ前任報告
有ノ誤、甚クモナルヘシ

0442

天
風

611933

情報部 第一課
機密第四六號
昭和四年三月十九日
在赤峰
領事館事務代理 中根直介
外務大臣 男爵 田中義一殿
新聞紙ニ関スル調査報告件
當館管內ニ於テ發行マラル新聞紙ニ関シ別紙ノ通り
査報申進ス



0445

昭和四年四月四日 接受
別紙添附

本信送付先
青島総領事

0444

赤峰領事館管内新聞ニ関ス調書
熱河民報

赤峰ニ於テ發行セラル熱河省の唯一週刊新聞ニシテ主筆兼發行者石井生發行部數約百部石版刷四頁小形新聞ナリ右石谷生ハ署長ニ當地ニ於テ熱北白話報ニモシテ發行シ居タルモ大正十五年申官憲ノ忌諱ニ觸レテ發行ヲ禁止セラレタルカ昭知三年夏前記如キ名稱ニ再ヒ創刊スリ殆ト今ク市井ノ瑣事ヲ列ス間々人身攻毀事ヲ事トスルカ為官民ノ間ニ不評判ナリ

0446

情報部

第一課

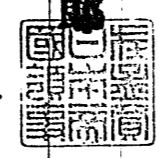
昭和四年五月四日 接

機密公第七九號

昭和四年參月廿八日

在 孟買

領事 栗原作次郎



外務大臣 早瀬 田中義一殿

在孟買帝國領事館管内新聞調査(昭和三年十月末現在)報告ノ件

本件ニ関シ古館昭和三年度報告(昭和三年四月十四日附機密公第一四号)ニ
外々左記ノ通り正致シタルモノヲ以テ本年度報告ト致度ニ付テハ可
然御取計相煩度ニ

0447

5. 2. 18.
三三
四六
三〇
三〇
三〇

記
孟買
→ 英字新聞

Times of India

備考欄冒頭、発行部数「約一万」とあるを「三万七千と
公称」と訂正。
備考本文冒頭に「一八三八年創刊」を挿入す。
同じく末尾の「尚現主筆「シエパト」は多年云々」以下全
部を削り左の如く訂正す。
「尚現主筆「シエパト」は一九〇二年倫敦「タイムズ」社に入り後一九
〇七年本社に轉じ一九二三年末主筆を勤む。
毎木曜日には印度土木工業附録を出す。

週刊(日曜) The Times of India Mail Edition 及 Illustrated Weekly

CII

0448

Bombay Chronicle

of India (発行部数四万二千)を発行す。

主筆を「Syed Abdullah Brelvi」と補正す。

備考欄中程の「本紙は一九一三年 Pherozshah M. Mehta (後「パイ

ト」に敘せらる)の次の「の創刊に係り」を削り「が當時

Stamman に在りし Benjamin Horniman を地レ来リマ主筆とレ

創刊せる処に係り」を挿入。

Indian National Herald

備考欄冒頭ニ三行目の「政府を攻撃したる為め政府
の忌憚に觸ル」の次の「一度」とあるを「一九一九年四月」と変
更す。

Evening News of India

如故

CII

0449

Indian Daily Mail

持主を Indian Daily Mail, Ltd. と訂正す。

備考欄冒頭発行部数を「一万一千と公称す」と訂正。
同欄冒頭「本紙所有者」を「J. B. Pettit」以下「同紙主
筆とした事実は之を語るものがある。同紙は迄全部削
除す。即ち備考欄本文は「独立不羈」を標榜ししよ
り始まる。

同欄末尾に次の如き附加す。

「主筆「ナタラコヤン」は「ソレヤル」リネーマア「紙」主筆を兼ねぬ。
本紙は古中一流の実業家トリス、地主、工場主なる外幾多
の顯職名譽職を勤むJ. B. Pettitの創刊所有と仰り
し。近時会社組織に改められた。

Indian Social Reformer

CII

如故

Examiner (新)

(註)「新」ときは前年度報告に無き本年改改の事。

主義特色

宗教新聞

主筆

Rev. H. Roper.

備考

週刊(土曜)英字新聞

カンソリック敬林閣紙

(二) 土語新聞

Moohoi Samachar

備考欄「日利」とあるを「夕利」と訂正。

備考本文冒頭に「Jan-e-Jamshed」と共に土語新聞として
最も古い歴史を有するを挿入。

同欄末尾に「英字新聞 Indian National Herald」と控携し
して居るしを附加す。

0451

0450

Jam-e-Jamshed

備考欄、発行部数を「約一万」と訂正。

備考本文冒頭に「一八三二年の創刊、十九世紀末當時の

持主 K. M. Shroff より J. Mirzban が買収経営今日に至り、

前述の如く土語新聞中最も古くあるあり、有力なる新

聞の一二、を挿入し、「ハイ」社会に愛読云々に續く。

The Akhoar-i-Islam

如故

Gujarati

如故

Sarj Vartaman (新)

持主

Rustom N. Vachagadhy & Co.

主筆

Rustom N. Vachagadhy.

CII

0452

備考

夕刊「ダジュライ」語、発行部数五千。

Bania (シンポー) Bohra (マホジ) の商人間

に讀者多し、多少反英的気分が認められる。

Hindustan and Praja Mitra. (新)

持主

R. Lotewala.

主筆

Miss. Bachuben Lotwala.

備考

日刊「ダジュライ」語、発行部数五千。

Parsi 及 Akhbar-i-Soudagar 紙と相提携す。

上流印度人間並に商業界に愛読す。

商工業、土木、教育、政治記事に富み、又

社会改造問題に力を注いで居る。

Kaisar-i-Hind. (新)

持主

Erachshaw R. Hejibehedin & Co.

CII

0453

以下
原稿は故
5.3.18
5.18

主筆	Erachshaw R. Heerjibhedin.
備考	週刊(日曜)「ゴレ」を「語」発行部数五千 「ゴレ」社会に愛読せらる。「ナニヨナリス」の 系統なり。
	プーナー (Poona) 人口 三三、八二五 (新)
Servant of India (新)	
持主	Servant of India Society.
主筆	S. G. Vaze.
備考	週刊(木曜)「英字新聞」 教育及社会記事と角出。
カラフ	

0454

Daily Gazette	備考欄の「創立四十七年」とあるを「創立五十年」と訂正。
Sind Observer.	如故
New Times (新)	如故
主筆	R. J. Lanchmandar.
主義特色	反政府
備考	日刊 英字新聞
	アーメタ ハット
Young India.	如故
Navjivan (新)	

0455

	主義特色	急進反政府派 非協同主義
	持主	M. K. Gandhi.
	主筆	M. K. Gandhi.
	備考	週刊(日曜)「カンデー」の 「カンデー」の株関係がある。
	マドラス	
	Madras Mail	
	如故	
	Hindu	
	如故	
	New India	
	主筆	「週刊」の Annie Besant & B. Shiva Rao を 「附加」

0456

	備考欄冒頭「週刊」とあるを、夕刊及週刊(水曜) と訂正。
	同じく中程の「一九二七年四月より週刊に改め」次の 今日に至つてゐるが又日刊に改め多々の噂があるを訂 り「たが一九二六年四月十日より日刊を復し現時は 日刊並に週刊を出さ」を挿入す。
	同じく末尾に「之は「ベダト」世史の態度の反映の ある」を附加す。

0457

5.3.11
 (四、五) 2
 (四、五) 2
 60.933

館事領本日坡香晚在

情報部 第二課
 機密公第方九號
 昭和四年三月廿二日
 在晚香坡
 領事 福間 豐
 外務大臣 男爵 田中 義一 殿
 新聞調査報告提出ノ件
 昭和三年十二月末日現在當地附近ニテ發行ノ主
 要英字新聞及管下本邦人經營報章新聞
 調査報告別紙ニ通提出ニ付御本局宛相成度

0458

館事領本日坡香晚在

名称	主義特色	持主	主筆各記者	備考
The Vancouver Daily Province	嚴正中立	專務取締役 Frank J. Bond & J. W. Brown	主筆	夕刊 發行部數八萬週刊 紙一八九四年「シン」 ニ於テ創刊一九七年發行 所ニ晚香坡ニ漸次發行 トシ現在西部如ク「大 新聞」トシ又最近「維」セ ザシ「系」ニ對シ「 嚴」中主ノ標榜スルニ至テ係 守光ノ色彩ヲ帶ヒ共ニ論議 穩健報送確實起事堂 富テ一般ノ信用ヲ得居ル日 本及日米ノ間ニ關シ「公 正」態度ヲ持シ「編輯」 論說等ノ掲載「ト」ナイ
The Vancouver Sun	獨立自由黨系	持主 J. P. Christie	主筆 H. A. Klein	夕刊 發行部數六萬一九 二年創刊一九七年現持 主「經營」後「同年」 「新聞」ト合併「一九 四年三月」又「Daily World」 買収「The Vancouver

0459

館事領本日坡香晚在

<i>The Daily Colonist</i>	保守党機關紙	<i>John H. Hutcheon</i>	主筆	創刊、発行部数一萬五千、創刊一八五五年、一九〇六年現持主の手で、印刷機を新設、紙質を改良、論調も従来一般、信用を得、現在有数の新聞紙、此日本及日本へ関係、關シハ、常々、此紙を態度ヲ持シ、不謹慎、ノ排日黨等、議會ニ現ハル、ハ、實ニ之ヲ譽ムル所カ多イ
<i>The Victoria Times</i>	自由党機關紙	<i>David Pearson, R. E. Nicholas</i>	主筆	夕刊、発行部数一萬三千、創刊一八四四年、持主「スティーブ」ノ、著名ノ實業家、此紙を、同、信託アリ、有シ、主筆「ニコラス」カ、筆、實上、経営者ヲ、同、紙ハ日本ノ事情ニ適シ、且自由党、對シテハ
ヴィクトリア (Victoria) (人口四萬) 此、外支那人經營ノ漢字新聞「大漢公報」(支那國民黨機關紙)ガアル 親日ノ傾向ガアル				

0461

館事領本日坡香晚在

<i>The Morning Star</i>	自由党系	<i>Nicola M. Williams, G. Rossman</i>	主筆	創刊、発行部数二萬、一九〇四年創刊、始メテ、主筆「ニコラ」カ、紙ハ、此紙ヲ、改メ、本紙ニ、筆實上持主「ボギ」カ、 列強會議議決ヲ自由党中、錚々たる人物ヲ、本紙論調、寧ニ穩健、日本及日本へ関係、關シハ、大抵、此紙ヲ、親日ノ、態度ヲ、相傳ヘ、漸次、 此紙、政治、一時期、香港、大、新聞トシテ、朝之四、発行、タカ、 <i>Morning Star</i> ノ出現、テ、打撃ヲ、受ケ、タリ、テ、競争、ヲ、遊クル、為、同、紙、ト、協定、シ、タリ、 一九〇六年、近キ、 <i>Providence</i> 紙、ヲ、同、標、トシ、テ、演習、セ、シ、タリ、 口、ル、結果、発行部数、ニ、想、出、增加、シ、タリ、 夕刊、同、紙、及、 <i>Star</i> 、新聞、紙、ニ、テ、 主筆「ニコラス」カ、筆、實上、持主「ニコラス」カ、 夕刊、発行部数一萬三千、創刊一八四四年、持主「スティーブ」ノ、著名ノ實業家、此紙を、同、信託アリ、有シ、主筆「ニコラス」カ、筆、實上、経営者ヲ、同、紙ハ日本ノ事情ニ適シ、且自由党、對シテハ
-------------------------	------	---------------------------------------	----	--

0460

館事領本日坡香晚在

名称	持主	主筆又記者	備考
加常池日新聞	社長 鈴木重三	主筆 同	和字夕刊(夏) 発行部数二千八百七 年頃改題鈴木五郎、創立一九二〇年頃 暫く和字夕刊一九二一年有之、依り丹刊 一九二三年現社長、経営、移り、論調穩 健、在留民中、大部を即所稱、三義、先 頭、主筆、之、反對、立場、ニ、此、日、報、此、レ ハ、記事、ノ、選擇、紙、面、ノ、体裁、於、テ、選、色、可 ト、近、未、本、紙、概、意、在、留、民、概、認、メ、ラ、ル、ニ 至、ル、ト、共、其、発行部数、日、大陸、日、報、ヲ、追、越 ス、ル、ニ、至、ラ、レ、タ、ル
大陸日報	社長(株式會社) 山崎 寧	主筆 永澤六郎	和字夕刊(夏) 発行部数一千六百一九 〇七年大北印刷會社トシテ創立、翌年 現社長ノ手ニ移リ、晚香坡和字新聞 中編輯、其、他、互、於、優、劣、社長、主筆 共、之、評、テ、之、人、望、ヲ、以、テ、鈴木、重、三、ノ 經營、之、長、業、紙、ノ、陰、陽、接、助、ヲ、以、テ、所 謂、三義、派、ノ、互、成、ヲ、望、シ、廣、く、振、興、之、途、ヲ 等、漸、次、其、信用、ヲ、失、墜、シ、建、物、裁、策、ノ

0463

館事領本日坡香晚在

名称	持主	主筆又記者	備考
<p>本邦人經營ノ新聞</p> <p>晚香坡 (Evening)</p>			
<p>此外支那人經營、漢字新聞、日新聞(共和主義)カアル</p>			

0462

5.3.12.
 要南田
 池田
 三浦
 尾

情報部
 機密第四五號
 昭和四年三月二十二日
 在サンパウロ
 總領事 中島清一郎
 外務大臣男爵 田中義一殿
 伯國サンパウロ州諸新聞ニ關スル報告書進達ノ件
 當州發行諸新聞ノ主義、社長、傾向等別紙ノ通り報告ス

情報部

第二課

昭和四年五月拾五日接獲
 別紙添附

Consulado Geral do Japão - S. Paulo

0465

在晚香坡日本領事館

氏名	泉	編輯人 宮澤八郎	主筆 鈴木俊	為財政通商、折衝回下経路困難 收造、在ト却トシテ居ル
邦国又刊(四月)発行部数七百一十二 年鈴木俊が大陸日報を生み、労働連 徒会組織、共、機要紙トシテ労働連 報、創刊シテ一九二四年、民衆ト改稱シ 同刊、改多、鈴木、左便派、人物、労働 過激ヲ主シテ、邦人労働階級特、青 年、交、シテ留、半和リ乱ス多、数 ノ指彈スル所トシ、遂ニ本紙、正規ノ購換 者、大部分、労働連、及同人ノ主、敢、惑 ハサル、僅々二百カ箱、二百ノ者、其、他、押、受 シ、紙、初ノ体裁、其、他、紙、會、同、シ、レ				

0464

サンパウロ 人口 八五〇、〇〇〇

名稱 主義特色 持主 主筆又ハ記者

O Estado de São Paulo

獨立

株式會社エスタ
ード。ヂ。サン
パウロ

Julio Mesquita
Filho.

社長
Nestor Rangel
Pastana.

Blimio Barreto.

備考

當地新聞界ノ權威ニシテ
議論穩健記事豐富常ニ品
位ヲ保チ人ノ尊敬スル所
タリ保チ一九二六年當州ニ
始メテ民主黨組織セラレ
、ヤ盛ニ之ヲ聲援シ一
見同黨機關紙ノ創アリシ
カ民主黨機關紙ノ創刊ト
共ニ從來ノ方針ニ歸リ全
ク批判的態度ヲ執ルニ至
ツタ伯國ニハ枚擧ニ違
ナキ程多數ノ新聞アルモ
經濟的ニ獨立スルモノコ
ノ一紙アルノミニシテ株
式會社タル同紙カ毎年一
割五分内外ノ配當ヲナシ
ツ、アルヲ見テモ明カテ
アル發行部數六萬特別版
ニテ八萬乃至十萬
純然タル政府與黨機關紙
ニシテ當局ノ施政ヲ徹底
的ニ擁護賞揚ス會テハ
エスタード紙ト共ニ當地

0466

O Correio Paulistano

聖州共和
黨機關紙

社長

Abner Morrão.

Edgard Nobre de
Campos

O Jornal do Comercio.

半獨立

社長

Mario Guastini.

J. Mattos.

O Diario Nacional.

民主黨
機關紙

社長

Harrey Junior.

Paulo Nogueira
Filho.

新聞界ノ雙璧ト稱サレシ
モ新聞ノ性質上購讀者ニ
限リアリエスタード紙
ニ比シテ進歩發展ノ跡ナ
ク發行部數モ以前ト大差
ナシ二萬五千部
從來コノ新聞ハ當地三大
新聞ノ一ニ算ヘラレテ居
タカ最近經營難ニ陥リ節
ヲ拵ケテ御用紙臭味ヲ發
揮シ毎月其筋ヨリ多額ノ
補助ヲ受ケテ居タカ遂ニ
持切レス最近休刊スルニ
至ツタ發行部數二萬
民主黨成立ノ翌年即一九
二七年ノ創刊 共和黨機
關紙ト對峙シ同黨及當局
ノ施政方針ヲ駁シテ剩ス
所ナシ
創刊後日淺キモ人氣ニ投
シ發行部數四萬ト稱シ當
地第二ノ新聞トナレリ
社長マレ一氏ハ民主黨代
議士ニシテ著名ナル闘士
ナリ

0467

Diario Popular. 獨立

社長 J.M. Lisboa & Cia.

J.M. Lisboa.

壹刊廣告本位ノ新聞ニシテ此點ニ於テ其右ニ出ツルモノナシ記事穩健豐カナル爲獨立自立

A Gazeta. 獨立

社長 Gaspar Ilberio.

同上

壹刊報道本位 スポーツ報道ニ全力ヲ注キツ、アリ興味本位ナル故下級者ニ購讀者多シ 二萬五千部

A Platée. 獨立

社長 Araujo Guerra.

同上

壹刊社會記事本位 右ガゼイタ紙ト類似ノ新聞ナリ 一萬部

O Diario da Noite. 獨立

社長 Oswaldo Chateaubriando

Amadeu Amaral.

夕刊中ノ筆頭 言論評論本位 共和黨ノ施政方針ニ筆鋒ヲ加ヘ寧ロ民主黨聲援ノ態度ヲ執リツ、アリ 二萬五千部

O Diario de São Paulo. 獨立

社長 Rubens do Amaral.

O. R. Dantas.

前記チアリオ。ダ。ノイテ紙ノ姉妹紙ニシテ最近ノ刊行ナリ 新聞ノ体裁等エスタード紙ニ倣ヒ記事豐富ニシテ創刊日淺キニ不拘已ニ二萬五千ノ讀者ヲ得ルニ至レリ

A Folha de Manhã. 獨立

社長 Olival Costa.

同上

興味本位 諷刺ニ富ミ購讀心ヲ喚ルヲ特長トス 二萬五千部

A Folha da Noite. 獨立

社長 Olival Costa.

同上

夕刊 前記フオリヤ。ダ。マニヤ紙ノ姉妹紙 其體裁記事等殆ント朝刊ト同様 一萬五千部

O Combate. 獨立

社長 Indolpho Rangel Pestana.

同上

壹刊 興味本位 群集煽動ニ妙ヲ得 伊紙燒打事件ハ同社記者ノ主唱ト稱セラル 以前ハ時々排日記事ヲ掲ケシモ近年ソノ事ナシ 一萬八千部

São Paulo Journal. 半獨立

社長 Israel Souto.

Antoni Costa Allemo.

社會記事本位 一萬部 隠レタル持主ハ共和黨ノ一幹事ナル關係上共和黨機關紙ニ近シ

A Fanfulla. 獨立

社長 Angelo Poci.

同上

伊語新聞 記事概シテ穩健 外字新聞中ノ筆頭ナリ 四萬部

O Piccolo. 紙

社長 Nunzio Greco.

同上

純然タルフアシスチ機關紙 昨年九月伯國婦人記者ヲ紙上ニテ侮辱シフアツシズムヲ高唱セシ爲伯人ノ怒ヲ買ヒ燒打ニ遇ヒ

Die Deutsche Zeitung.

獨立

社長
Rodolf Troppmair.

同上

伯刺西爾
時報

獨立

社長

邦字新聞

同上

日伯新聞

獨立

社長

三浦 鑿

同上

聖州時報

獨立

社長

香山六郎

同上

テ當時ノ社長ハ其レカ原
因ニテ亞國ニ走リ現社長
ハ其後繼者ナリ爾來餘
リ露骨ニ主義ノ宣傳ヲ行
ハサル模様ナリ二萬部
獨逸語新聞記事本位
外字新聞中第二位ヲ占メ
三萬五千ノ發行部數ヲ有
ス購讀者伯國南北ヲ通
シ通シ

所謂植民地新聞ニシテ其
說ク所平凡ナルモ穩健ナ
リ二千五百部
言論他紙ニ比シテ劉拔
觀察ニ妙ヲ得居ルモ時々
過激ノ言ヲ弄スルコトア
リ近來葡語欄ヲ設ケ幾
分体裁ヲ改メタリ千五
百部
ノロエステ線邦人ヲ土臺
トスル週刊ニシテ主要記
事ハ寄稿ニ俟チ自社論說
等ニ見ルモノナシ千部

0470

電送第 2951-7 號

昭和 4 年 9 月 26 日 午後 5 時 5 分發

電信課長

主任 任 起草 昭和 4 年 3 月 26 日

(原議用紙甲) 圓納

件 新聞調査報告督促件

名込綴

在支那臨時代理公使 在天津 福州 漢口 青島 濟南 濰縣 龍口 煙台 威海衛 營口 奉天 長春 瀋陽 錦州 安東 延吉 琿春 敦化 蛟河 磐石 舒蘭 德惠 九台 農安 梨樹 雙陽 伊通 乾安 鎮賚 通榆 洮安 洮南 通渭 臨洮 岷縣 宕昌 武都 成縣 文縣 徽縣 西和 禮和 康樂 和政 廣河 永靖 臨澤 高台 金塔 民樂 永昌 山丹 東鄉 莊浪 華亭 靜寧 會寧 靖遠 景泰 會通 岷州 宕昌 武都 成縣 文縣 徽縣 西和 禮和 康樂 和政 廣河 永靖 臨澤 高台 金塔 民樂 永昌 山丹 東鄉 莊浪 華亭 靜寧 會寧 靖遠 景泰 會通

田中大臣

本暗 令第一八四號

本年九月廿七日附報一機密合第 一三三號往信ニ

關シ新聞調査報告至急御提出アリ奉シ

本電本大臣ノ訓令トシテ

在支那臨時代理公使

電信案

外務省

(原議用紙乙) 圓納

未詳ニ転テアリ奉シ

(最在長春總領事宛ニハ)

牛莊、ハルビンニ転付アリ奉シ

(在上海總領事宛ニハ)

南京、漢口、揚州、蕪湖、沙市ニ転付

アリ奉シ

電信案

外務省

0472

0471

2013

600.933

情報部

第一課



在漢口

昭和四年四月廿一日接受
日本總領事館



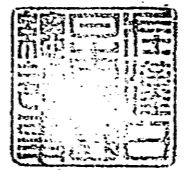
機密第304號

昭和四年三月二十九日

別紙添付

在漢口

總領事 桑島 主計



外務大臣男爵 田中 義一 殿

新聞ニ關スル調査報告書提出ノ件

昭和三年末現在當館管内ニ於ケル新聞ニ關スル調査報告書別冊ノ通
進達ス

追テ通信社ニ關シテハ客年十二月二十八日附機密第九二〇號拙信ヲ

在漢口日本帝國總領事館

BU

以テ報告ノ通ナルニ付申添ユ
本信寫送付先

在支公使

0474

0473

漢口總領事館管内ニ於ケル新聞調査報告書

(昭和三年十二月末現在)

第一 漢字新聞

概況 現在漢口ニ於ケル漢字新聞ハ十二紙(普通大型、七、小型五)ニシテ、中山、民國、新民、新聞報、中西、公論、商報ノ七紙カ大型新聞ニテ他ハ小型新聞ナリ、革命軍日報ハ程潛力李宗仁ノ爲抑留セラルルヤ中山日報ニ併合セラレ只管武漢政治分會機關紙ヲ以テ任シ又民國日報モ涂允檀、習文德、接受以來全ク省市黨部ノ宣傳機關ト化シ武漢ニ於ケル報道敏速ニシテ且内容割合ニ充實セル二大新聞ハ全ク武漢ニ於ケル廣西派ノ宣傳機關紙タル有様ニシテ其ノ他ノ各新聞ハ此ノ兩紙ノ記事ヲ轉載スルニ過キスシテ更ニ言論ノ自由ヲ與ヘラレス公

0475

平ナル批評ヲ爲シ輿論ヲ指導スル所謂社會ノ木鐸ト稱シ難シ如斯當地ニ於ケル新聞業ハ全ク不完全ノ状態ニ在リ國民革命軍武漢進出前ニ比スレハ其ノ數ニ於テモ半減シ居ル實狀ナリ

一 中山日報 (漢文)

主義 三民主義

系統 廣西系機關紙、第四集團軍總司令部宣傳機關

持主 武漢政治分會

社長 麥煥章(佛國バリ大學出身ニシテ前廣東大學及農礦次

長タリ)

主筆 陳言(陳紹虞)

編輯 劉存樸 陳冰伯 王恒 鮑幼申 羅敦偉 鄒碧痕

0476

在漢口日本帝國總領事館 B11

探訪員	宋斐如 李青崖
發行所	漢口濟生馬路
發行年月日	昭和三年四月一日
頁數	本紙十二頁附錄二頁
發行部數	二千五百枚
備考	本紙ハ初メ馬宙伯ノ主持シタル正義報カ國民革命軍前敵總指揮唐生智ノ爲民國十五年ニ武漢民報ト改メラレタル後唐生智失脚シ革命軍日報トナリタルモ程潛抑留セラルルヤコレヲ併合シ麥煥章カ廣西派ノ宣傳機關トシテ創メタルモノナリ當地ニ於ケル最高ノ報紙ト云フ

0477

在漢口日本帝國總領事館 B11

主編	湖北民國日報 (漢文)
系統	三民主義 中國々民黨々部機關紙
持主	湖北省黨部、漢口特別市黨部
社長	涂允檀 (漢口特別市黨部組織部長兼武漢市政府社長局々長)
主筆	習文德 (湖北省黨部宣傳部長) 又ハ汪奠基 (市黨部執行委員)
編輯	周均量 羅月樵 周天根 周均畿 喻的癡 尹篤生
探訪員	湯濟民 凌幼民 羅普成 葛仁之

ヘク武漢政治分會湖北省政府及清鄉督辦署 (主トシテ政治分會) ヨリ月額二萬元ノ補助ヲ受ケ居レリ

0478

在漢口日本帝國總領事館

B11

發行所	漢口歆生路忠信里二號第四號
發行年月日	昭和三年一月四日
頁數	十二頁
發行部數	二千五百枚
備考	(昭和二年度參照) 初メ小型紙ナレトモ三年一月十五日ヨリ大型ニ改メ湖北黨務整理委員會タリシ張知本及胡宗鐸ハ李翊東祝潤湘ヲ逐ヒ涂允檀及習文德ヲシテ本紙ヲ支配セシメ其ノ結果全ク黨務ノ宣傳紙トナリ省黨部ヨリ月額一万九千九百九十七萬元ノ補助ヲ得中山日報ト共ニ當地新聞界ノ權威者タリ

0479

在漢口日本帝國總領事館

B11

主義	三民主義
系統	國民黨漢口特別市黨部
持主	唐愛陸 (浙江人前清ノ秀才、漢口大平街上海銀行支配人)
社長	唐愛陸
主筆	李慎安
編輯	謝楚珩 謝倩茂 黃啓明 李翼軍
探訪員	管雪竹 黃德貴
發行所	漢口後花樓永興里五號
發行年月日	大正十五年十月

0480

在漢口日本帝國總領事館

B11

頁數	十二頁
發行部數	一千枚
備考	唐ハ蒋介石ト同郷ナルヲ以テ當地共產黨カ打倒蒋介石ヲ叫ヘル時蔣ヲ擁護シタル爲一時封鎖セラレ其ノ後西征軍來タルヤ唐ハ自ラ退キテ李慎安ニ譲リ爾來李ハ市黨部指導委員トナリ本紙ハ黨部宣傳總機關トナレリ 中山、民國日報ニ次キ有力ナル新聞ナリ
主義	國家主義、營業本位
系統	無系統
持主	張雲淵（商界出身）

0481

在漢口日本帝國總領事館

B11

社長	鳳竹孫
主筆	鳳竹孫
編輯	秦百里 王子勉 葉冷生 曾心吾
發行所	舊英租界鼎安里
發行年月日	大正四年一月
頁數	十二頁
發行部數	一千枚
備考	初メ漢口日報社（日本新聞）ヨリ補助ヲ受ケタル時代ハ營業振ヒタルモ今ハ此ノ補助無ク廣告收入ニテ漸ク營業ヲ繼續シ居ル状態ナリ

0482

五 漢口商報（漢文）

在漢口日本帝國總領事館 B11

主義	三民主義、營業本位
系統	國民黨
持主	王春先
社長	鄒碧痕 (新聞記者出身)
主筆	鄒碧痕
編輯	陳鈺庵 羅指南
探訪員	劉香谷
發行所	漢口後城馬路
發行年月日	大正九年八月
頁數	十二頁
發行部數	五百枚

0483.

在漢口日本帝國總領事館 B11

備考	<p>創刊時代ハ總商會ヨリ補助ヲ受ケタリ、現在鄒ハ鄂北清鄉司令李紀才ヨリ補助ヲ受ケツツアリ經營困難ト云フコト無シ當地ニ於ケルニ流ノ新聞ナリ</p> <p>六 漢口中西報 (漢文)</p>
主義	營業本位
系統	無系統
持主	王華軒
社長	王華軒
主筆	王麗生 (米國留學生)
編輯	喻可功 王於安 王世達
發行所	漢口張美之巷後巷口

0484

在漢口日本帝國總領事館
B11

發行年月日	明治四十年十月
頁數	十二頁
發行部數	一千枚
備考	營業不振
主 義	七 公論日報（漢文） 營業本位
系 統	無シ
持 主	王民樸（漢口紅十字會委員）
社 長	王民樸
主 筆	胡硯農
編 輯	羅雲橋 葉松雲

0485

在漢口日本帝國總領事館
B11

發行所	漢口後花樓正街方正里
發行年月日	大正七年四月
頁數	十頁
發行部數	五百枚
備考	創刊當初ハ安福系ト干係シ權威アリタルモ後來漸ク營業不振トナリタリ 最近鄂西清鄉司令劉和鼎ヨリ補助ヲ得經營ヲ維持シ居 レリ

0486

在漢口日本帝國總領事館

B11

主	義	三民主義
系	統	國民黨
持	主	童仲庶、祝潤湘（新聞記者出身）
社	長	童筱村
主	筆	童仲庶
編	輯	童秀眞、童叔勉
探	訪	童子烈
發	行	漢口紫竹巷六合里
發	行	年月日
頁	數	二頁

0487

在漢口日本帝國總領事館

B11

發	行	部	數	二千枚
備	考			
主	義	營業本意		
系	統	無		
持	主	鄧博文（新聞記者出身）		
主	筆	鄧博文		
編	輯	蕭亞農		

昭和二年童仲庶カ民國日報編輯トナリタル時ヨリ創刊ス小型新聞
ナレトモ主旨正大ニシテ左派ノ攻撃スル處ナルモ今日依然社會上
ニ大ナル勢力ヲ有ス

四九 工商白話報（漢文）

0488

在漢口日本帝國總領事館
B11

探訪員	徐三元
發行所	漢口小董家巷
發行年月日	大正十二年
頁數	二頁
發行部數	四千枚
備考	小型新聞ニテ下級勞働者ノ購讀スルモノナル故發行部數多シ
主義	一〇 漢口新快報 (漢文)
系統	營業本意
	同

0489

在漢口日本帝國總領事館
B11

持主	萬克哉 (新聞記者出身)
發行所	漢口濟生一馬路福生里
發行年月日	昭和三年六月一日
頁數	二頁、小型新聞
發行部數	一千枚
主義	一一 鏡報 (漢文)
系統	營業本意
持主	同
發行所	羅月樵 (新聞記者出身) 模範區杏星里
發行年月日	昭和三年六月三日

0490

在漢口日本帝國總領事館

B11

頁數	二頁小型新聞三日毎ニ發行サル
發行部數	五百枚
十二	大風報(漢文)
主義	營業本位
系統	同右
持主	不明
發行所	漢口歆生寧波里
發行年月日	昭和三年十一月
頁數	二頁小型新聞三日毎ニ發行サル
發行部數	五百枚

0491

在漢口日本帝國總領事館

B11

第二、邦字新聞

漢口日日新聞

發行所 漢口日本租界中街第六六號

主義系統 在留民ノ向上發展

社長兼主筆 宇都宮五郎

記者 阿部善三郎

内田佐和吉

發行部數 五百七十枚

備考 創刊以來已二十年、經營振フト云フヲ得サルモ東方及電通
ヲ載セ報道敏速ナルヲ以テ最近支那人間ノ購讀者ヲ増加シ
ツツアリ

0492

在漢口日本帝國總領事館

B11

第三、英字新聞

現在武漢ニ於ケル英字新聞ハ左ノ二紙ナリ

一、Central China post (英文楚報)

所在地 漢口第三特別區(舊英租界)

社長兼主筆 *Wally J. Archibald* (蘇格蘭人ナリ)

副主筆 *Archibald Grant* (英國人ナリ)

記者長及記者 李 德(朝鮮人)

G. Kingston

Dennis G. H. Wang

Matthew, G. H. Lee (會計)

備考 英國系ニシテ一九一一年ノ創刊、日刊八頁リノタイプ四臺

0493

在漢口日本帝國總領事館

B11

電動印刷機六臺ヲ有ス普通印刷物ノ注文ニモ應シ「チャイナ、イヤー、ブック」ノ「エイジエント」ナリ

二 *Danton Herald* (自由西報)

所在地 *85 Rue Bouthomer, French Concession*

社長兼主筆 *Bruno Schwartz* (米國人)

副主筆 林芳伯、廣東人上海聖約翰大學附屬中學ヲ經武昌

文華大學卒業

備考創刊以來六年、日刊八頁、電動印刷機二臺ヲ有ス、

米國系ナリ

以上

0494

情報部

第一課

昭和四年四月四日

接受

機密第九七號

昭和四年三月二十九日

在牛莊

領事 荒川 充



外務大臣男爵田中義一 敬

新聞及通信ニ関スル調査報告ニ関スル件

本件ニ関シ左記ノ通報報告ス

記

一 概況

當地ニ於ケル邦字新聞トシテハ滿洲新報及滿洲經濟日報ノ兩紙アリシ處經濟日報ハ大正十四年春休刊シ引續キ人テ日ニ至リ現在ニ於テハ滿洲新報ノ之同報ハ明治四十年十二月ノ創刊ニ係リ相當古キ歴史シ有スルモ大連奉天等ノ及發展ニ連レ同地方面新聞ノ勢力自ラ當地ニ侵入シ讀者ノ如キモ漸次其發展食スル處トナリシト一面經濟雑誌ノ為通々トシテ振ハス掲載記事ノ如キモ當地方雜報ノ外ハ所謂通信切

在牛莊日本領事館

人ノ京退ト共ニ經營頗ル困難ナル状態ニアリ
高漢字新聞トシテハ經濟日報アルノモ當地支那總商會ノ機關紙ニシテ明治四十年十月創立セラル時事問題ヲ論スルコト甚ク經濟記事ノ掲載ヲ主トシ其ノ他當地ノ諸雜報ヲ録スルノ

0495

之右両紙共ニ政治的関係ヲ有セス且其ノ勢力
モ亦大ナラス

二、新聞

名稱	主義系統	持主又ハ社長	主筆及、重要ナル記者	備考
一、滿洲新報	一、滿洲開發日 本国民性、發揚 ニ政黨政治ト關 係ナシ	一、社長小川義和 署長曾澤園東 廳警務室官ヲ リ明治四十一年 十月又末左社 アリ左四十四年主 筆トナリ七十 四年八月前社長 岡部次郎死後 社長トナル	主筆社長兼務 記者 カ田富夫 大連商業學校 出身昭和二年十月 ヨリ記者トナル	一、明治四十年創刊 二、日刊(日曜、冬休日 、翌日休刊)四百 三、發行部數千五百 四、所在地 五、本街 六、概説参照 七、
二、邦人	三、在滿多年ナル ヲ以テ其ノ所説 參考ニ次頁スヘ キモノナレトセス	四、	五、	六、
三、新報	四、	五、	六、	七、
一、營高日報	一、地方経済ノ振 興 ニ政黨政治ニ關 係ナシ	一、營口總商會 ニ在リ	主筆陳錫哉 營口縣師範學 堂出身 營口縣人	一、明治四十年十月設 立 二、日刊(日曜休刊)六 頁 三、約千部 四、營口西大街
二、漢文	三、營口總商會 ノ機關紙			五、創設者田初経實 困難ナリシメ七十 五年頃ヨリ順調ニ 向ヒタルニ工場整理 内容刷新、及上棟 シ六十三年一月休 刊シ昭和二年二月ヨリ 再刊セリ 六、地方的記事 七、
三、新報				
在牛莊日本領事館				
三、通信員				
氏名	所属通信社	備考		
小川義和	大阪毎日	一、前記滿洲新報社長(因考ノ多ク照) ニ學ノ殊ニ又曾テ居留民會會長トシテ現ニ當地商業 會ヲ編所特別委員並滿鉄地方委員課長 トナリ		
東登一郎	滿洲日報	一、東登一郎出身六十三年三月支那側營口公安 局(當時整警室長)ニ顧問トシテ備聘セラレ今年 八月ヨリ滿洲日日新聞營口主任トナリ左社ノ滿洲 日報ト改題後又其ノ支局主任トナル		
吉住鶴八	大連新聞	一、當地民間書日記水道電氣人會同社員タリトアリ六十 三年六月ヨリ左社營口支局長トナル		
田中次雄	奉天毎日新聞	一、南東ヲ警備官出身六十三年當地ニ於テ古物商 ニシテ其ノ支局主任トナル		